

私の留学体験記

広島県立上下高等学校 2年 大石 千華 (おおいし ちか)

留学期間 令和元年8月19日 ~ 令和元年8月23日 (5日間)

留学先 平湖市職業中等專業学校 (平湖市, 中華人民共和国・浙江省)

私は、外国の文化に触れてみたかったことや、将来調理師を目指していることから、中国で本場の中国料理を食べてみたいと思い短期留学を決意した。人生2回目の飛行機は、とても怖かったけど初めての海外と来年上下高校に来る研修生に会えるのがすごく楽しみで、いつの間にか恐怖が吹き飛んでいた。

上海空港に着いたとき、広島空港とはけた違いの大きさや飛行機の多さに驚いた。空港の到着ロビーで、平湖市職業中等專業学校の先生や生徒さんが一時間以上も待っていたのにもかかわらず、笑顔で手を振って出迎えてくださった。今でも頭に焼きついて忘れられないくらい嬉しかった。

学校に着いて校内を案内してもらいながら探索した。上下高校の5~6倍はある広さと、30倍の生徒数でとても驚いた。学校では、陶芸や3Dプリントで作るゴム鉄砲を体験した。3Dプリントでゴム鉄砲ができるのかと最初は想像がつかなかったが、とても丈夫でカッコいい物ができ、感動した。服を作ったり、デザインをしたりすることを専攻としている生徒さんが作ったソックスをもらったが、売り物と変わらないくらいの品質で技術がすごいと感じた。

食事は、回転テーブルがある綺麗なレストランやホテル、出かけた先にあったお店で食べた。初めての食べ物や、日本でも食べたことのある食べ物、中国の有名な食べ物などたくさん料理に出会った。初めての触感の食べ物や、日本にはない味付けなどが沢山あった。中には、口に合わないものもあった。強く記憶に残っているのは、郷土料理の臭豆腐と小籠包だ。臭豆腐は臭という字の通り本当に臭く、お店に近づくだけで鼻が取れるかと思った。強烈な臭いで最初は絶対食べられないと思っていたが、勧められて食べてみると、とても美味しく何個も食べてしまった。本場の小籠包を食べたかったので有名なお店に連れて行ってもらった。食べ方を教えてもらいながら食べた小籠包は、今まで食べた中で一番だった。本場の中国料理は、比較的日本より味が濃かったり、大体の料理が似た香辛料を使用したりしていると感じた。留学に行くことで、好きな食べ物に出会え、これからの進路を考える上で参考になると思えた。

今回の留学で、中国の方々と話したり、来年日本に来る生徒さんと日本には無いトランプゲームをしたり情報交換ができ有意義な時間を過ごせた。また、食事マナーや中国のもてなし方を知ることができた。テレビやネットを見るだけでは分からないことが沢山あることを様々な体験から実感した。短い時間だったが内容の濃い時間を過ごせ、もう一度行きたいと思った。

